

む つ み

2 8 3

日本国語教師の会「樺の会」

第五十五回 日本国語教師の会「樺の会」

横須賀大会案内号

日本国語教師の会「樺の会」では、毎年8月に関東近県で夏季合宿研究会（通称・全国大会）を開催しております。第55回となる今年度は、46回横浜大会以来9年ぶり、神奈川県では4回目の開催となります。開催地である横須賀の先生方のご実践やご研究に学ぶ機会をいただくことができました。

今年のテーマである「主体的・対話的な学びが深まる国語の教室」は、前年度テーマ「学び続ける主体を育てる国語の教室」を受けて設定されています。私たちは常に他者に影響されながら生きる存在であり、新しいものと出会ったり、既知の事柄と出会い直したりする中で、自分の知を壊しながら更新していくことを「学び続ける主体」と考えると、そのような学びを「深める」とは、どのようなことを指すのでしょうか。また、そのためにはどのような教室、どのような教師であることが求められるのでしょうか。横須賀の先生方とともに、研究の部も夜の部も含めて考えていく時間がもてるように準備を進めております。

また、今回のゲストの話には、立教大学名誉教授で小学校英語教育についての論考の多い鳥飼玖美子さんをお招きします。それにともない、今大会のパネルディスカッションは「これからの“ことば”の学びを考える」と題し、母語である国語の学習と小学校英語教育両方に関わっている先生方にご登壇いただく予定です。関東圏以外の先生方と互いに磨き合える数少ない機会です。奮って参加いただけますよう、お願いいたします。

日本国語教師の会「樺の会」横須賀大会

一 主題 ことばを育て人間を育てる国語教育

― 主体的・対話的に学びを深める国語の教室 ―

主催 日本国語教師の会「樺の会」
後援 横須賀市教育委員会

二 とき 二〇一九年八月三日（土）～ 四日（日）

三 ところ ヴェルクよこすか

〒238-0006 横須賀市日の出町1-5

交通：京急横須賀中央駅から徒歩5分

宿泊：セントラルホテル横須賀

〒238-0007 神奈川県横須賀市若松2-8

TEL：046-827-1111

交通：京浜急行線横須賀中央駅徒歩1分

四 日程

【第一日】八月三日(土) ヴェルクよこすか

1 受付 九：〇〇～一〇：〇〇

2 開会式 一〇：〇〇～一〇：一五

① 開会のことば

② 挨拶 大会委員長 濱田 芳子 (神奈川県)

③ 大会運営の連絡 大会事務局 長谷川 泰子 (神奈川県)

3 はじめの話 一〇：一五～一〇：四五

大会事務局 松本 正子 (東京)

4 研究発表 一〇：四五～一二：〇〇

※発表者二名を予定

5 実践報告分科会 一三：〇〇～一六：〇〇

◆低学年分科会

◆中学年分科会

◆高学年分科会

※各分科会とも、発表者二名を予定

6 懇親会 一八：〇〇～二〇：〇〇 セントラルホテル横須賀

【第二日】八月四日(日) ヴェルクよこすか

1 受付 九：〇〇～九：三〇

2 パネルディスカッション 九：三〇～一二：〇〇

「これからの“ことば”の学びを考える」

コーディネーター 若林 富男(茨城)

※パネリスト三名を予定

3 記念撮影 一三：〇〇～一三：一五

4 ゲストの話(記念講演) 一三：一五～一五：〇〇

講師 鳥飼 玖美子 氏

(英語教育の第一人者、同時通訳者の草分け的存在)

5 まとめの話(総括講演) 一五：一五～一五：四五

黒田 英津子 (静岡)

6 閉会式 一五：四五～

・会代表挨拶 山崎 和男 (千葉)

・参加者代表挨拶 ※参加者を見て人選

・大会連絡 若林 富男 (茨城)

・閉会のことば 濱田 芳子 (神奈川県)

7 交流の集い 一七：〇〇～

五 参加費等

大会参加費：四〇〇〇円（資料代・会場費等）
地元（神奈川県内に勤務校）：参加費三〇〇〇円
学生参加費：二〇〇〇円 当日受付で集めます。
宿泊費：一泊七〇〇〇円（朝食付税込）
懇親会費：七〇〇〇円（予定）です。

六 申込方法

八月一日（木）までに、必要事項を記入し、メールまたはFAXにてお申し込みください。
前述の宿泊を希望なさる方は、七月一二日（金）までにお申し込みください。

七 申込先

日本語教師の会「櫻の会」
【HP】 <https://www.keyakikokugo.com>

【メール】 info@keyakikokugo.com

八 研究発表等

研究発表（八月三日午前若干名）分科会実践報告
（八月三日午後、低・中・高学年各若干名）をご希望の方は六月一五日（土）までに、テーマや内容を明記して、お申し出ください。原則として受付順に決定します。大会事務局より依頼することもあります。

発表要項はA4用紙を縦長、縦書きにして四枚以内にまとめ、七月十九日（金）までに申込先にお送

九 その他

①当日受付もしますが、参加者数により資料をお渡しできないことがあります。
②受付場所は、ヴェルクよこすかです。お間違いのないよう、お気をつけください。

りください。期日に遅れた方は、当日一〇〇部ご持参ください。

【大会役員】

大会委員長 濱田 芳子（横須賀立大大矢部小学校）

大会事務局長 長谷川泰子（葉山町立上山口小学校）

大会事務局 秋山 誠（前浦安市立美浜南小学校）

岡田 博元（お茶の水女子大学附属小学校）

帯川 理加（横浜市教育委員会）

片山 守道（お茶の水女子大学附属小学校）

名取 俊夫（練馬区立八坂小学校）

松本 正子（前十文字学園女子大学）

村上 博之（関東学院小学校）

廣瀬 修也（お茶の水女子大学附属小学校）

横内 智子（お茶の水女子大学附属小学校）

若林 富男（江戸川学園取手小学校）

【実践報告】

濱田 芳子 (神奈川)

「子どもを育て人間を育てる」…教師の願いを指導計画に込めて

昨年児童指導上の問題を抱える学級に、六月半ばから非常勤として入り、週五時間国語を指導することができた。

様々な問題はあったが、授業を通して少しずつ児童の自己肯定感や、共に学ぶことへの価値観を高めることができた。学級は落ち着きを取り戻し、全員が着席して授業できるようになった。しかし、大人への失望感「いのちの軽視」という二つの問題を根底に残したまま一月を迎え、卒業までにこの問題を解決したいという強い願いから、東京書籍六年プロフェッショナルたち」と君たちに伝えたいこと」という二教材を合わせた単元計画を立ててアプローチした実践である。

一、単元名 未来へつながる〇〇〇のプロフェッショナルノート」

(東京書籍 六年最終単元)

二、単元について

本単元は、卒業前に扱うということで、プロフェッショナルとして輝きを持つ三名の大人たちの「行動と言葉」を伝え、その中から卒業生たちが未来への夢や希望を持つ生き方を見つけ出せるようにという制作者側の願いが込められている。

小学校最終単元でもあるので、完全に学習規律が戻っていない学級の状態であっても、教材となつている人々の魅力パワーとDVDの補助で、児童の意欲を引き出し、未来の生き方に希望を持つことができる授業を展開していきたいと考えた。

児童が主体的に取り組むための手立て

①「プロフェッショナルノート」の表紙をつくり、その中に、人物の生き方や言葉から、自分自身の心に残ったものを記録し、その人らしさを一文で表す「キャッチフレーズ」入りのノートを積み重ねながら、未来に対しての希望を見つけられるようにしたい。

②自分で興味のある世界のプロフェッショナルを「オーダーリスト」(五十名分)から一名選び、ポスターセッションで他の友だちに紹介するという学習活動を行う。リストには、教材文の出版元の本を使用。(図書室には伝記が多く、文章が長すぎるが、これは多くても八ページ程度で自力で読める分量)自分で選択すること、それを仲間に伝える事が主体性を深めるために、役立つと考えた。

また、友達がどんな人を選んで紹介するのかという点で、聞き手の興味関心も高まり、様々な分野のプロフェッショナルについて学びが広がることを期待する。

これらの活動を通し「プロフェッショナル」とは「プロゲーマー」「大工」「芸人」「ダンサー」などと職業で答えてはいるが、あいまいだった考えが徐々に深まってきた。自分が将来なりたい大人像を具体的に心に思い浮かべることができるとは、ないかと考えた。

教師の願いをこめた補助資料

①児童の中に「大人になんかなりたくない」という失望感を

持つ者が複数いると感じていたため、私自身が紹介したい「おすすめの素敵な大人たち」を三名DVDで追加する。
(既存のイメージをこわす漁師・役者・医者)

②連続する次の教材は『君たちに伝えたいこと』で、百五歳で亡くなった内科医「日野原重明さん」からの手紙文形式である。その教材には、「自分がもらった奇跡的な命を大切にし、他のだれかのために時間を使える大人になってほしい」という願いが込められている。

当初は別々に扱う予定だったが、日野原重明さんを知らない世代の児童には文章の重みが伝わりにくいと考え、私自身がパート1で追加に選んだ「心臓血管外科医大木隆生」とさんとの医者つながりで、単元を結ぶことにした。

日野原さんもプロフェッショナルの一人として扱い『地下鉄サリン救急医療チーム最後の決断』(DVD)を補助資料として『プロフェッショナルノート』にまとめる。

③「命の尊さ」を理解できない言動の児童が数名いる現状から、追加資料としてNHKスペシャル「人体」DVDを入れる。これにより、自分自身が「いのちの奇跡」によって誕生してきた事実気づき、「受精卵はすでに一人の人間である」という真実にも気づいてほしいと考える。

④最終的には、自分のプロフェッショナルノートをふりかえって、最初に考えた「プロフェッショナルとは」を改めて問い、学習後の深まりを期待したい。

三、指導計画 (全二十時間)

①プロフェッショナルについて何だろう。(一時間)

②パート① 未来につながる自分だけのプロフェッショナルノートをつくる

1、海獣医師「勝俣悦子」さんから学ぶ。(二時間)

自分でキヤッチフレーズを付けてみよう (資料1)

オーダーリストから興味ある人物を選択

2、板金職人「国村次郎」さんから学ぶ。(二時間)

3、パティシエ「杉野英実」さんから学ぶ。(二時間)

4、先生のおすすめ人①漁師「村 公一」さんから学ぶ

情熱大陸DVDから 視聴メモ:(一時間)

5、オーダーリストから選んだ人物を「ポスターセッション」

で紹介しよう。(二時間十二時間)(資料2)

・内容を調べポスターに心に残った行動・言葉とキヤ

ッチフレーズをまとめる。

・ポスターセッションで調べた人物を紹介し合う。

6.先生のおすすめ人②役者「小栗旬」さんから学ぶ

・情熱大陸DVDから 視聴メモ:(一時間)

7.先生のおすすめ人③医者「大木隆生」さんから学ぶ

・プロフェッショナル仕事の流儀DVDから視聴メモ

(二時間)

③今思う「プロフェッショナル」って何だろう

・自分のノートを振り返る(資料3)

④ パート② 未来に向かって

1. 「君たちに伝えたいこと」を読んで初発の感想を書く
2. 日野原重明さんについて調べよう

プロジェクトX DVD 「地下鉄サリン事件と救急医療チーム最後の決断」から学ぶ・・・(二時間)

3. みんなの疑問「ひとつの奇跡」について

NHKスペシャルDVD 「生命誕生・・・見えた母と子のミクロの会話」から学ぶ・・・(二時間)

4. 友達のノートからいのちや奇跡について学ぶ

「君たちに伝えたいこと」を再び読み味わう・・・(二時間)

間

5. 谷川俊太郎さんの詩「春に」を読み味わう・・・(二時間)

四月に学んだ「生きる」を読む・「春に」の意味を考え
る・役割を決め群読をする

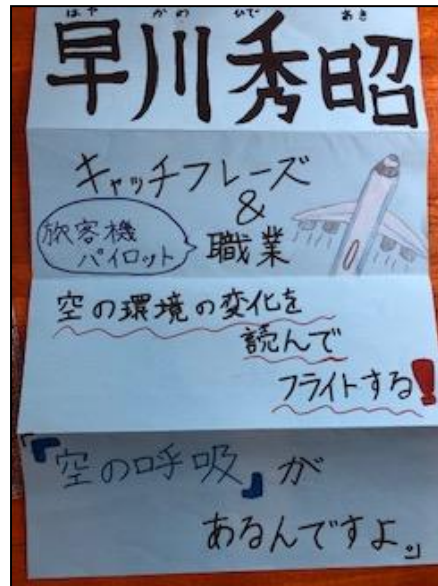
資料1 プロフェッショナルノートから

パティシエ「杉野英実」さん

1. プロフェッショナルの名前	杉野英実さん	
2. プロフェッショナルの仕事	洋菓子職人	
3. この人がプロフェッショナルだと感じる出来事や言葉	お野の学が おまかせの気持ち おまかせの気持ち おまかせの気持ち おまかせの気持ち おまかせの気持ち	おまかせの気持ち おまかせの気持ち おまかせの気持ち おまかせの気持ち おまかせの気持ち
4. このプロフェッショナルにキャッチフレーズをつけるとしたら	路地裏で目指す 幸せ杉野英実	
5. 話し合ってから決めた最終キャッチフレーズ	積み重ねてゆく 果てなき味杉野英実	

資料2

ポスターセッション用のカード



ポスターセッション用の聞き手メモ

質問	回答	質問	回答
質問1	回答1	質問2	回答2
質問3	回答3	質問4	回答4
質問5	回答5	質問6	回答6
質問7	回答7	質問8	回答8

<p>1.</p> <p>最初は有名な人とか、すごい人の事だと思っていたけれど、(今は) プロフェッショナルとは「努力してみんなを笑顔にさせる人」だと思った。</p>	<p>2.</p> <p>最初は一流の名人だと思った。今は、「多くの人のために働く人」だと思う。</p>	<p>3.</p> <p>プロフェッショナルとは、「仕事をして人に幸せや喜びを与える人」のことをいうのだと思う。</p>	<p>4.</p> <p>「自分の仕事を一生懸命やりがいを持ってやっている人」</p>
<p>5.</p> <p>「人のために全力を注ぐ人」の事だと思いました。仕事のことを最優先にして、人のために全力をそそぎ、自分の事は後回しにして頑張る人の事だと思いました。そういう人は、世界の人や周りの人が注目していなくてもプロフェッショナルだと思います。</p>		<p>6.</p> <p>「自分の仕事を最後までめげずにやる人」だと思いました。それと、「その仕事を愛している人」だと思います。</p>	<p>7.</p> <p>「ずっとあきらめずに努力していた人」「どんな日でも、その仕事に向き合っている人」</p>

友達が紹介してくれた人物、さらに教師おすすめのDVDの人物からも、人としての生き方の素晴らしさをつかみ取ることができた。大人になんかたいたくない」と言っていた児童が、自分の仕事を一生懸命やりがいを持ってやる人」がプロフェッショナルであり、自分も医者になつて人を喜ばせる人になりたい。」と夢を書くまでに変化したことは教師の願いの一つが達成されたと言える。また、指導計画の中で、児童のモデルになる人物を十人以上紹介できた。

2、キャッチフレーズを自分なりに作るために本文やDVDから真剣にことばを選び、その人物にピッタリな表現にしよう工夫して作ろうとする姿から主体的に言葉の力を獲得しようとする姿が見られた。

3、自分が選択した人物について「ポスターセッション」で紹介するために、難解な語句を調べたり、人物の仕事に興味を持つてさらに調べたりなどしてまとめ、友達が調べた人物への興味関心も強かった。

4、パート②の「君たちに伝えたいこと」の教材文の初読では気が付かなかった文章の重みが「日野原重明」さんに関するDVDや「大体」のDVDなどの補助資料により、深く文を理解し、教師の願い「二つ目」の「のちの尊さ」も理解できた。

1、オーダーリストは、教科書教材と同じNHK出版の「プロフェッショナル仕事の流儀」の文庫本から選択し目次を使った。その

五分の程度が、児童には理解しにくい職業の人物であった。例、経済関係・経営者・商社マン等）今後は、吟味を十分にするように気を付けたい。そうすることで、調べる負担が減り、個人差が開き、休み時間などにも取り組まねばならなかった児童が減少するだろう。

2、日野原重明さんの文章の意味をきちんと理解するには、事前には扱ったり、DVDで人物の解説したりが必要だが、単独単元で別の時期に扱ったりした方が良いかもしれないと感じた。

3、ポスターセッションの聞き手メモの仕方を明記し、後日振り返る時に、誰のどの点がプロフェッショナルなのかがわかるように記録させたい。今回一度目のポスターセッション後に、話し方をほめるだけのメモに気づき修正した。

◇◇本会案内 ◇◇

日本国語教師の会 櫛の会」の研究でめざすもの

日本国語教師の会 櫛の会」は、二十一世紀の国語学習の在り方の探求する研究集団である。

子どもたちが「自ら国語の力を獲得する学び」の姿を求めて、東京、千葉、埼玉、神奈川、茨城から会員が都内の会場校に集まって来る。若手から中堅、そしてベテランまで、幅広い層の教員が、常に三十名近く参加する。

研究は厳しく、人間関係は和やかに」を合言葉に毎月一度集まり、

互いに学び合っている。二〇一六年五月には月例会が四五〇回となり記念すべき五〇〇回も視野に入ってきている。

日本国語教師の会 櫛の会」は、故石田佐久馬代表の遺志を引き継ぎ **吾以外皆我師**」をモットーに学び続けている。月例会で学んだことをもとに、日本国語教師の会 櫛の会」の全国大会（毎年七月八月）で、発表する会員も多い。

近年の日本国語教師の会 櫛の会」の全国大会の研究テーマを掲げると、次のようになる。

二〇一六年 第五十二回茨城取手大会（茨城県取手市）

ことばを育て人間を育てる

～自ら学び、みんなで学ぶ国語の教室～

二〇一七年 第五十三回伊豆熱川手大会（静岡県東伊豆町）

ことばを育て人間を育てる

～国語科における「深い学び」とは～

二〇一八年 第五十四回宇都宮大会（栃木県宇都宮市）

ことばを育て人間を育てる

～学び続ける主体を育てる国語の教室～

日本国語教師の会 櫛の会」の会員は、全国大会のテーマを常に意識しながら、自分で興味関心のあるテーマを設定し、授業実践を通して追求し、年一回月例会で提案することを申し合わせている。